



## 意味を待った“脚”の例

**兄** <sup>ひとあし</sup> 人脚 人の意味の部首。

兄 = 口の達者な人は、先に生まれた“あに”です。会意字です。

**益** <sup>さら</sup> 皿 皿の象形で、皿の意味の部首です。

益 =  は水を横にした形、。皿から水が溢れる意味の字で“溢”の本字です。会意字。

**然** <sup>れんが</sup> 連火 火の燃える形を表わした字で、火の意味の部首。“四つ点”とも言います。

然 = 犬の肉を火で焼くという意味の会意字で、“燃”の本字です。

**恭** <sup>したごころ</sup> 下心 心の変形したもので、心の意味の部首。

恭 = 心を共にする(一緒にする)という意味の会意字。共同でするには、相手の心を尊重しなければなりません。その気持を表わした字です。音は共きょうですから、形声字でもあります。